



# 教育の窓

久田見小学校



久田見小学校は、標高 520m の高原に位置し、全校で 51 名の子どもがいる小規模校です。校は、八百津地区や和知地区より 2 週間程遅く咲き、そして、長い期間楽しむことができます。本校は、小規模校のよさを生かした特色づくりを進め、生きる力を育てています。

## 伝統を大切に

久田見といえば「久田見祭り」、久田見小学校といったら「トランペット鼓隊」です。



400 年以上の伝統をもつ久田見祭りに、毎年多くの子どもが参加します。地域の人たちと、太鼓の練習を何度もするなど、子ども達も祭りの立派な主役です。

トランペット鼓隊は、今年で 43 年目です。昔は、6 年生だけで編成していたのですが、現在は、3 年生以上です。マーチングバンドの指導者を招いて、



一生懸命練習しています。久田見小学校の運動会や産業文化祭で発表しますので、是非、お越しください。ご覧ください。

## 少人数のよさを生かして

本校では、小規模校のよさを生かし、一人一人に丁寧な指導を心がけています。

右の写真は、「10 点満点筆箱」(筆箱の中身を整える)の取組です。担当教諭が、学期のはじめの



登校時に、児童玄関で子ども達を出迎えるとともに、一人一人の筆箱を確認します。「鉛筆が全部削ってあるかな。」「名前は書いてあるかな。」「すごい！全部できてるね。」全員に声をかけながら、子ども達のやる気を引き出します。

とがった鉛筆は、子ども達の学習意欲を湧きたた

せませす。朝、児童玄関でやる気をもって、教室に向かいます。

右の写真は、全校朝会の子どもの発表の様子です。本校では、全員の子どもが 1 年間のうちに 1 回、自分の経験や調べたことなどを発表します。低学年は、学級担任が発表内容や発表の仕方を指導します。学年が上がるにつれて、自分で準備したり練習したりできるようになってきます。



- ①誕生日は、○月○日です。
  - ②分団は○○で、兄弟は、○人です。
  - ③男の子です。
- この子は、誰でしょう。



これは、お昼の放送のクイズです。

みんながお互いのことを、よく知っています。少人数の学校ならではの、温かい光景です。

## どんな集団でも自分が出せる子に

今は、1 学級 10 人前後の少人数の集団に属していますが、子ども達の将来は無限に広がっています。どのような場においても、自分の考えを堂々と話したり自分のよさを生かしたりできるよう、いろいろな場を設定して指導しています。

1～6 年の縦割りグループ「高原グループ」を組織し、掃除、遊び、草取りなどのボランティア作業を行います。高学年が低学年の子を気遣ったり教えたりすることが毎年繰り返して行われているので、異年齢集団が自然に成り立っています。

また、その高原グループで、地域に出かけ、施設や工場、店などを見学するオリエンテーリングがあります。お世話になっている地域の人たちに質問したり話したりして、力を付けています。

さらに、全校で集まる場で、挙手をして発言をしたりする場を多くもっています。学級で発言する力を付け、それを全校の場で発揮することで、これから先、どのような集団でも自分の考えが出せるようになって欲しいと考えています。

久田見小の子ども達は、地域の方々、保護者のみなさんに見守られ、明るく元気に生活しています。